

# 子どもの 非認知能力を育むための 大人のかかわり

NPO法人ほっとはあと



すぐ「もうしない」「できない」とあきらめてしまう子どもたち  
便利なグッズ・アイテム・気に入らなければ、リセット



粘り強く頑張る プロセスが大切



親も子も失われつつある  
**(非認知能力の喪失)**

自己肯定感の喪失



子育てを楽しめない (無意識の虐待)



# 現状と課題

赤ちゃんをあやすことから始まる親子の愛着形成とその後の社会性の発達、子ども達の粘り強さやあきらめない心、感謝する心など、どのようにすれば育ていけるのか、子どもの笑顔を維持する育児技術の習得と同時に、頑張っている子どもを応援できる地域づくりを目指す。



## 事業の目的



- \*1) 子どもの非認知能力を育む大人のかかわり方講座  
(1回/年) 30名⇒ (2回/年) 15名×2回
- \*2) ワークショップ 10組 (2回)
  - ①子どもの世界をのぞいてみませんか？
  - ②子どもの非認知能力を高めるためのヒント
- \*3) アンケート
- \*4) 5年間のあゆみ冊子の作成
- \*5) プログラムの配信 出前講座の配信



# 事業内容



## Zoom配信が叫ばれる中、実際のママたちの声

1時間もパソコンの前に居られない

途中抜け・・・  
結局聞けなかった・・・

集中できなかった  
ストレスで気分が滅入る

時間を設定されると難しい

子どもと一緒に居るっていう事解ってないのかな？




\*Zoomは、  
子育て中の方の参加は難しい

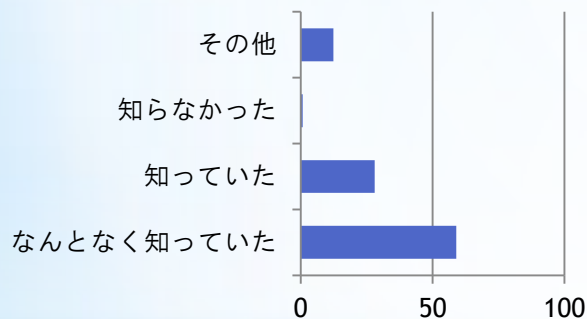
\*岡山県立大学「周防美智子」先生による講座

\*参加者39名

非認知能力について

第1章 講演会・・・定員各20名程度(託児なし)・・・受付9時45分～ 参加費無料

日時・場所	題目	講師
11月12日(木) 1000~1145 (定員20組) 山手ふれあい センター	子どもの 『非認知能力』を高める 大人のかかわり	岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 准教授 周防 美智子 先生  ☆子ども支援、子育て支援を 中心に地域や園・学校で 活動を行っている
12月3日(木) 1000~1145 (定員15組) 山手保健センター	※左記日程の内容は同じです ※どちらか一方を お申込みください。	対象 ①子育て中の保護者 ※両日未就園のお子さんは一緒に参加できません ②子育てに興味のある方・子育て支援従事者



とても大切と理解した  
意識して関わっていきたい  
100%の変容

子どもの非認知能力を育む  
大人のかかわり方講座



# ①子どもの世界をのぞいてみませんか？

子どもが普段している行動に着目

言葉の意味が不十分とはどういう事か等体験

第2章 ワーク①・・・定員各10名（託児あり10名程度）・・・ 受付9時45分～  
☆ワークショップ～子どもたちの世界をのぞいてみませんか？～ ※ティータイムあり

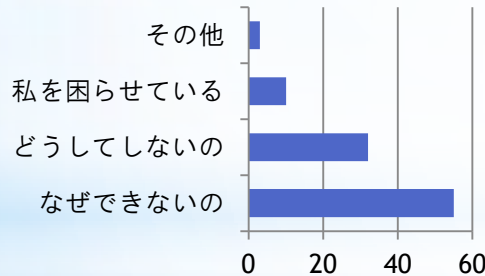
	日時	場所	ファシリテーター	
①	11月24日(火) 10:00～11:30	山手出張所 託児（山手保健センター内）	NPO法人ぽっぽとはあと ぽっぽの子育てぽっぽとはあと	伊藤 家生 小野 永里子
②	12月4日(金) 10:00～11:30	山手ふれあいセンター 託児（山手保健センター内）	NPO法人ぽっぽとはあと ぽっぽの子育てぽっぽとはあと	市村 みみこ 宮口 まゆ子

※上記日程の内容は同じです

参加者22名



## 受講前の保護者の気持ち



ぼちぼち成長する  
できなくて当たり前  
100%の変容

# ワークショップ①

\*②子どもの非認知能力を高めるためのヒント

\*褒められると自己肯定感がアップすることを体験

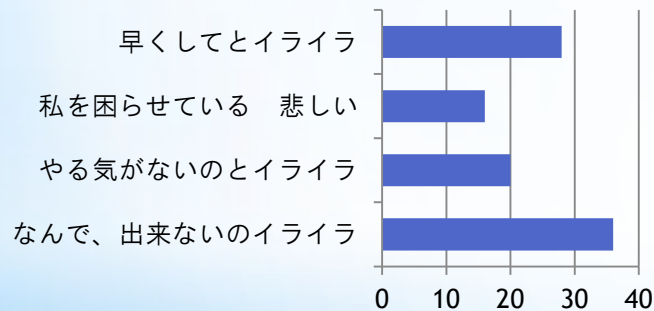
参加者23名

第3章 ワーク②・・・定員各10名(託児あり10名程度)・・・受付9時45分～  
☆ワークショップ～子どもの「非認知能力」を高めるためのヒント～ ※ティータイムあり

	日時	場所	ファシリテーター
①	11月30日(月) 10:00～11:30	山手出張所	NPO法人ほっとはあと 伊藤 家生
		駒沢(山手保健センター内)	ほのぼの子育てほっとはあと 小野 永里子
②	12月11日(金) 10:00～11:30	山手ふれあいセンター	NPO法人ほっとはあと 市村 みみこ
		駒沢(山手保健センター内)	ほのぼの子育てほっとはあと 宮口 まゆ子

※上記日程の内容は同じです

\*ネガティブな感情



ポジティブな感情

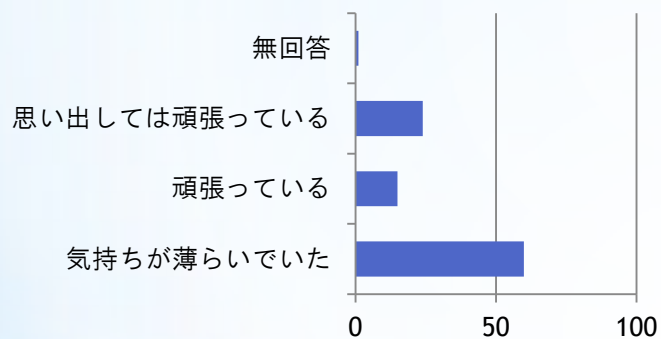
子どもも頑張っている  
ほめてあげたい  
ママの器を大きくしたい  
100%の変容



ワークショップ②



- \* 体験したポジティブな感情の維持
- \* 89%の方の返信を頂いた。



思い出して  
気持ちに寄り添いたい



# 振り返りアンケート

- \* 市民提案型事業の「5年間のあゆみ」の創刊
- \* 愛着形成を主軸としたプログラムの開発
- \* 効果的な一連の活動

- ① 子ども理解のエビデンスを伝えること
- ② 実際に子どもの感覚で体験すること
- ③ 同じ体験をした仲間を持つこと
- ④ 体験した気持ちの風化を防ぐこと



## 5年間の冊子の発行

子どもへの「愛情」をより確かな「愛着」へ  
親が「親」として育っていく過程を支援し続ける

- ①新しいワークプログラムの開発
- ②ワークプログラムの公開
- ③体験ワークの出前講座
- ④ファシリテーターの養成
- ⑤受講した保護者との座談会
- ⑥子育て講演会の開催



．．．．日々発信し続ける。



法人としてできる事

\*5年間で延べ759名の方々に講演会やワークショップを受講いただきましたが、子育て世代の人口が新たに増えていくこの総社市で毎年の開催をさせていただき、ありがとうございました。

\*人権・まちづくり課さんやこども夢づくり課さんの広報協力、こども課さんの参加者フォローや審査員の皆様からのアドバイス等、今後の子育て支援に大きな力となることができました。

決して一法人だけでは成し得なかった事業だったと感謝しております。



# 市民提案型事業として



5年間の市民提案型事業で得たことを礎に  
今後の子育て支援、親支援を  
おこなっていきたいと考えています。

ありがとうございました